

「楽しく・健やかな・活気ある学校」を創ろう！**敦賀市立気比中学校****1 取り組みの概要****(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	6回
地域及び家庭への学校公開	7回(のべ) 7日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	7人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」
ふるさとのよさを再発見し、ふるさとへの愛着心を育てる取組

具体的な活動内容 「地産地消に取り組む人達から学ぶ」

3年生は、昨年度のふるさと学習において、「地産地消に取り組む地域の達人から学ぶ」と題して調査活動や体験活動を行った。公民館の方々から協力を得、栗野エリアでは「ま菜チャーハン」、中郷・愛発エリアでは「ちまき」、西浦エリアでは「鯛飯」、東浦エリアでは「こっばなます」、原・杓見エリアでは「のっぺい汁」を達人の方々と一緒に調理した。また東浦エリアではみかん農園も訪問し、下草刈りのやり方を教えてもらいながら、みかん作りのこだわりと楽しさについて聞き取ることもできた。「みかんの花」が満開で、生徒は初めて見る花の美しさに感動し、次は実をつけた秋に収穫農業体験活動を行いたいという学習の見通しを持った。



そして今年度は、学年全員でみかん農園を再び訪問し、収穫農業体験を行った。農園の方々には、2年続けての訪問を大変喜んでいただきました。生徒も熱心に収穫活動を行っていた。この収穫農業体験活動を通して、改めて地元みかんのすばらしさを実感するとともに、園を守る苦労を実感できた。収穫後は、みかんを試食し、「ふるさとの味」をみんなで堪能した。

成果と課題

生徒たちは、2年間の活動目的は概ね達成できたと感じている。各地区の伝統料理や地元の農業など、今後も守っていききたい「ふるさとの宝」であることを実感し、体験で感じたことを保護者や地域に伝えることができた。

今後の課題としては、この2年間の積み重ねた体験を、他のエリアとどう組み合わせるのかである。地域・学校協議会では、学級別に実施時期を工夫するなどの提言をいただいた。

ふるさと学習の教材開発をする際には、地域の方々との連携協力を更に深め、地域・学校協議会の委員やPTA、校区の小学校の協力も得ながら、今後の改善に努めていきたい。



